

## ◇ 芹川の治水対策方針

- 芹川の当面（今後20年間）の治水対策は、河道内の堆積土砂等の除去による流下能力回復で、県内の他の同種・同規模の河川とバランスのとれた治水安全度（戦後最大洪水規模相当）を確保することとする。
- 芹川は天井川の形態をなし、家屋等が隣接することから、堤防の安全性の点検・評価を行い、必要な箇所での堤防強化対策を行う。
- 同時に、流下能力を超える洪水が発生した場合にも、芹川沿川住民の命を守り、被害の最小化を図るため、地域住民や地元自治体と連携して「地域防災力の向上」に取り組む。
- 芹谷治水ダム建設事業の中止に伴う、ダム建設予定地域の地域整備や生活再建など地域振興は重要な課題であることから、県として早急にその対応策に取り組む。

## ◇ 事業の経緯

